Topic

令和元年１０月５日（土）岐阜新聞１６面

森本（岐阜聖徳高）・田中（北陵中）組 鮮烈V

Sクライミング少年男子リード、県勢初

スポーツクライミング少年男子リードで優勝した森本治誉（中央）と田中裕也（右）ら

県スポーツクライミング界の新たな歴史の扉を開いた。少年男子リードで、県勢同種目初優勝の快挙を成し遂げた森本治誉（岐阜聖徳高）と田中裕也（北陵中）。新たな“黄金コンビ”の誕生に、邨瀬一弘監督（大洞印刷）も「2人とも持てる力を出し切ってくれた」と手放しで褒めたたえた。

「決勝進出は絶望的だと思った」と2人が口をそろえた予選。田中が低い高度でミスした。「迷惑をかけてしまった」と猛省したが、年上の森本が「これを救った。テンポ良く登っていくと、上部でも思い描いた通りに登り、距離を伸ばした。「完登」まであと一歩のところまで進み、ルート1位タイで決勝進出をたぐり寄せた。「本当に奇跡」と2人は笑った。

「どうせ（予選で）終わったと思っていたから、とにかく楽しもうと思った」と森本が話すように、決勝では緊張からも解放され、田中は予選のミスを挽回する登りを見せれば、森本はまたしてもルート1位で大きく優勝に貢献した。

5日には息つく間もなく、ボルダリングの予選が待ち受ける。森本は「正直完全燃焼しているけど、スイッチを切り替えて臨む」と、目指すは決勝進出だ。

いきいき茨城ゆめ国体2019 第7日

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」第7日は4日、茨城県営ライフル射撃場などで15競技を行い、ライフル射撃の成年男子ライフル3姿勢120発で、橋爪一馬（県体協）が2連覇。スポーツクライミングは少年男子（森本治誉、田中裕也）がリードで初優勝を果たした。

橋爪は予選を1153点で2位通過。ファイナルは2位に2・6点差をつけて圧巻の優勝。森馬（県体協）が2連覇。スポーツクライミングは少年男子（森本治誉、田中裕也）がリードで初優勝を果たした。

橋爪は予選を1153点で2位通過。ファイナルは2位に2・6点差をつけて圧巻の優勝。森本と田中は予選を4位で通過し、決勝では森

ライフル射撃は少年男子ビームピストル60発で吉村和徳（斐美高）が4位。成年男子エアライフル立射60発の昨年覇者・遠藤雅也（日大、関有知高出）が8位入賞。カヌーワイルドウオーターカヤックシングル150㍍で成年男子で渡辺正浩（八百津高教）が6位、成年女子で井口愛梨（北和中）が8位。重量挙げ61㌔級の鈴木大翔（中津高）はシャーク

県勢記録

■ライフル射撃・

▽成年男子ライフル3姿勢予選（120発）②橋爪一馬1153点（膝射390、伏射380、立射383）＝決勝進出

▽同決勝 ①橋爪一馬450・2点

▽同エアライフル立射予選（60発）①遠藤雅也625・8点＝決勝進出

▽同決勝 ⑧遠藤雅也118・6点

▽少年男子ビームピストル予選（60発）③吉村和徳552点＝決勝進出

▽同決勝 ④吉村和徳191・1点

▽少年女子ビームピストル予選（60発）⑬永野鈴夏522点

6位、スナッチ7位だった。

フェンシング成年フルーレは女子（伊藤真希、中屋暁、辻すみれ）は準々決勝進出、入賞確定。男子（伊藤真、伊藤拓真、岩田圭介）も3回戦に駒を進めた。アーチェリーは少年女子（武内花音、山中乃絵留、平井阿佐美）が非得点ながら個人優勝の山中を中心に2位で8強入り、成年女子（杉林りな、大橋朋花、桝岡千乃）は3位で決勝トーナメント進出。陸上成年女子400㍍障害で昨年準優勝の吉田佳純（駿河台大、県岐阜商高出）が決勝進出を決め

令和元年１０月７日（月）岐阜新聞１４面

ボルダリング少年男子は３位

森本（岐阜聖徳高）・田中（北陵中）組、リードに続き躍動

スポーツクライミング少年男子ボルダリングで3位入賞した森本治誉（右）と田中裕也

2日前、少年男子リードで県勢初優勝を果たした森本治誉（岐阜聖徳高）と田中裕也（北陵中）がまたしても躍動し、同ボルダリングでも堂々の3位。「ボルダリングはいつも結果が悪いので出来すぎ」と森本は興奮気味に振り返った。

「前半のあの完登が大きかった」と口をそろえたのが滑りやすいホールドが多い構成となった第1課題。だが森本が「先輩として何とか引っ張りたかった」と決勝へ進んだ選手で唯一完登。

この姿に田中は「自分も一つでも多く登りきる」と後半は互いに第3課題を成功。アタック数の差で埼玉が2位、優勝の栃木とは完登数は1差で、2人の実力がリードともに全国トップレベルであることを証明した。

来年は森本が高校3年生となり、少年区分でコンビを組めるのはラスト。「最後は笑って終わろう」と、果たせなかった2冠へ向けた挑戦がここから始まった。